



合同会社中小企業DX研究所
代表社員 櫻井俊輔さん



町のあふれ出るエネルギーにひかれて

合同会社中小企業DX研究所は、東京都に本社を置き、中小企業向けのDX(デジタルトランスフォーメーション)による業務改善・IT化支援サービス、各種コンサルティングを行っている会社です。クライアントには東北各県の中小企業も多く、その企業に共通するのが、震災を経てこれまで以上にいい町にしよう、いい企業になろうというあふれ出るエネルギー。益城町にも同じ力を感じ、その発展に少しでも貢献できたらと思い、町のシェアオフィスへの入居を決めました。

「何からどう手をつければいいのかかわからない」。それが中小企業さんにとってのデジタル領域だと思います。「どうやる」という手法の話ではなく、「何を実現したいか」、「どんな会社になりたいか」からしっかりヒアリングをし、DX化すべきポイントを見極め、最も良い方法を提案できるのが、私たちの強みです！お悩みをお持ちでしたら、ぜひ一度弊社の無料相談にご連絡ください。DXによる業務改善をサポートします！



株式会社iroha.
代表取締役 大熊勇樹さん



町の未来図に魅力を感じて

株式会社iroha.は、令和4年に創業し、創業とほぼ同時に益城町に支店を構えました。初めて益城町を訪れた時、西村町長や町職員の考える町の未来図にとっても魅力を感じ、これからどんどん新しく変わっていくこの町に、ぜひお力添えをしたいと思い、進出を決めました。

私たちの会社は、「日本が好き」という思いから、「日本をチョット変える」というビジョンで事業を展開。デジタルの力を使い、企業の売上向上からリブランディングまで、幅広くお手伝いをしている会社です。私も社員も、とても「巻き込み力」が強く、現在は町の学生インターンも巻き込み、県内の企業のサポートをしています。徐々に仕事以外でも、町の皆さんと交流する機会を頂き、やはり益城町に支店を出してよかったと思っています。

IT・デジタル・DXと聞くと、「なんだか難しそう」と思うかもしれませんが、私たちはアドバイスをするだけではなく、執行まで行い一緒に問題を解決します。何かお困りごとがあればぜひご相談ください！

いつまでも！
みんなの「みんなの家」

平成28年熊本地震の発災を受けて造られた仮設団地に整備された「みんなの家」。仮設団地では、初めて顔を合わせる人たちも多く、そのコミュニケーションを図るのに一役買ったのがみんなの家でした。

仮設団地の集約・閉鎖とともに、みんなの家もその役目を終えたかに思いましたが、本特集で紹介した通り町内各地で新たな利用方法を見出され、さまざまな用途に活用されています。

そこに共通するのは、仮設団地での利用と同様に、コミュニケーションを図るための活用であること。地区内に集会所などが整備された人たちはもちろん、「キニナル」や「コネット」などは誰でも利用できますので、ぜひご利用ください。

仮設団地入居者が利用していたみんなの家は今、町民みんなの「みんなの家」に生まれ変わっています。そして、コミュニケーションの場として、いつまでもその姿を残し続けるでしょう。